

# NPO草津が市水防訓練参加



草津市水防訓練に参加したNPO  
草津市内業者会の方々

草津市内の建設関連事業  
社でつくる特定非営利活動  
法人「草津の安全・福祉・  
災害救援活動を推進する市  
内業者会（略称NPO法  
で行われた「草津市水防訓

人草津市内業者会）」（理  
事長・松本浩治(株)津田工務  
店滋賀代表取締役）は四日、  
草津市下笠町の消防訓練場

## 「せき板工法」を披露

### 橋川市長 頼もしい機動・組織力

練」に参加した。  
草津市水防訓練は、本格  
的な梅雨シーズンを迎え、  
水害を未然に防止するため  
の水防技術と知識を習得す  
る目的で開催。市と防災協  
定を結ぶNPO草津からは  
松本理事長を始め十七名が  
参加、市消防団員や消防署



水防工法「せき板工法」実  
施訓練の様子

員、市職員とあわせ総勢二  
百名以上での訓練となった。  
開会式では草津市の橋川  
渉市長が「災害に強い安全  
な草津のまちを造るため、  
本日の訓練が大きく寄与す  
ると期待している」と激励。  
NPO草津の取り組みに対  
し「機動力と組織力に優れ

た市内業者会が参  
加して下さるのは  
大変頼もしくあり  
がたい。行政との

連携のもと今後とも市民の  
安心安全確保に協力をお願  
いしたい」と語った。  
訓練の第一部は、水害対  
策に用いられる土の作り。  
説明に従い参加者総出で一  
つずつ袋に土を詰め、口を  
紐で縛り完成したのち運搬  
していき、たちまち千袋も  
の土のうが積みあがった。

続いての第二部では、作  
った土のうを用いて基礎的  
な水防工法「せき板工法」  
と「釜段工法」  
を実践。NP



松本理事長(右)  
に感謝を述べ  
る橋川市長

O草津は、河  
川の増水によ

って流れが堤防を越えそう  
な時に効果的な「せき板工  
法」を受け持った。水害発  
生時を想定して地面に基礎  
となる杭を二列に打ち込み  
せき板となる板を渡して二  
枚の板の間に土のうと土砂  
を敷き詰め、踏み固め完成  
させるまでの作業を協力し  
合い速やかに行なった。  
暑さの中会員らは揃いの  
ジャンパーとヘルメットの  
出で立ちで真剣な表情で訓  
練に取り組み、迅速な作業  
に汗を流した。  
訓練終了後、木内義孝草  
津市危機管理監が「訓練を  
通して的確で迅速な行動が  
見え、心強く思う」と賛辞  
を込め講評。作成した土の  
うを手分けして市内各所の  
備蓄用土のう置場へ運搬し、  
訓練を完了した。